

# 2024年3月期 第二四半期決算説明会

2023年11月22日

 **ワイエイシーホールディングス 株式会社**

(証券コード：6298 東証プライム)

<https://www.yac.co.jp>

## ▲ 将来見通しに関する記述についての注意事項

このプレゼン資料で述べる将来の当社に関する見通しは、現時点での情報を元に作成したものです。

当社グループのお客様である半導体等の業界は技術革新のスピードが速く、競争の激しい業界です。

また、世界経済、為替レートの変動、各業界市況、設備投資の動向は、当社グループの業績に直接的・間接的に影響を与える様々な外部要因があります。

したがって、実際の売上高および利益は、このプレゼンテーション資料に記載されている予想数値とは大きく異なる可能性があることをご承知おき下さい。

## 説明会概要

1. ご挨拶	HD代表取締役社長	百瀬 武文
2. 2024年3月期第二四半期決算総括	HD取締役	畠山 督
3. 2024年3月期第二四半期決算概要	HD取締役	畠山 督
4-①メカトロニクス関連事業	HD取締役副社長	伊藤 利彦
-②ディスプレイ関連事業	デンコー社長	青木 康浩
-③産業機器関連事業	マシナリー社長	副島 幸雄
-④電子機器関連事業	大倉電気社長	大倉 章裕
5. ワイエイシグループの今後の展開	HD代表取締役社長	百瀬 武文
6. Q&A		

# 1. ご挨拶

**ワイエイシイホールディングス株式会社**

**代表取締役会長兼社長      百瀬 武文**

## 1. 皆様のご支援に感謝

2023年5月11日に、無事創立50周年を迎えることができました。  
これまでの皆様のご支援に感謝するとともに、引き続きご指導お願いいたします。

## 2. 最高売上・最高益

創立50周年の年に過去最高売上・最高益の更新を目指してきましたが、今年度は厳しい状況。来年度以降、引き続き目標としてまいります。

## 3. 東証プライム市場

東証再編により、プライム市場を選択。条件に唯一未達であった株価（流通時価総額）を大幅にクリアすることができました。  
今後もこれに満足することなく、引き続き更なる株価上昇に努めてまいります。

## 4. 配当金

前年度（2023年3月期）は、創立50周年記念配（25円）を含めて年間75円の配当。  
今年度（2024年3月期）も、年間75円の配当を維持の予定。



## **2. 2024年3月期第二四半期決算総括**

**ワイエイシーホールディングス株式会社**

**取締役常務執行役員 富山 督**

## 1. 全体総括について

今次第2四半期決算状況は「増収・増益」と順調裡に推移  
他方、受注高不振・中国の景気減速等の影響による「売上高の伸び悩み」により  
通期業績予想の下方修正を実施。

## 2. 各段階利益について

### (1) 粗利益

増収・コスト削減といった量的効果に加え、粗利率改善という質的効果も相俟って、  
第二四半期粗利益は直近10年間では最高水準の30億円台に到達

### (2) 営業利益

今期からグループ入りしたJ E社（岐阜）・G D社（韓国）の経費増に加え、賃  
上げ（4%UP）による従業員人件費増、その他経費負担が粗利益の増益効果  
を減殺。結果として営業利益は前年同期比50%増の710百万円

## 3. 第二四半期決算に於ける主要トピックスについて

ライナス社関連では8/10にマウンター 1 台を出荷済。N J ラボにて稼働中  
大倉電気による北海道地域の代理店買収。負の暖簾等 2 6 5 百万円を計上

## 4. 受注状況について

受注高（フロー）：前年同期比で32%減の103億円

受注高（ストック）：前年同期末比で4%増の243億円

— フローとストックの両者間に跛行性が生じた捻れ現象を招来 —

## 5. 通期業績予想・同配当予想について

### (1) 通期予想

受注高不振・設備投資の期ズレ等による売上高伸び悩みを背景として通期業績予想の下方修正を実施。各段階利益減は「減収要因」が太宗

### (2) 通期配当予想

当初予想比減益となるも当期利益減益幅は限定的である事から通期配当予想は変更せず年間@75円を堅持

### **3. 2024年3月期第二四半期決算概要**

**ワイエイシーホールディングス株式会社**

**取締役常務執行役員 畠山 督**

# 3-① 連結損益状況【P/L】 総括



## 【トピックス】

増収増益：増収に原価低減が相俟って粗利は額・率共に改善。結果、全体収益を押し上げ

**粗利増(+518M) = 利鞘改善要因(+389M) + 増収要因(+129M)**

(単位：百万円)

	2021/9期 実績①	2022/9期 実績②	2023/9期 実績③	前年対比 (③-②)		業績予想 (23/5/13) 進捗状況
				増減額	増減率	(億円)
売上	11,075	10,976	11,506	530	4.8%	31% (370)
粗利	2,909	2,671	3,189	518	19.4%	
粗利率	26.3%	24.3%	27.7%			
営業利益	716	473	710	237	50.2%	19% (37)
営業利益率	6.4%	4.3%	6.2%			
経常利益	730	577	861	283	49.1%	24% (36)
当期利益	524	325	700	374	115%	30% (23)

# 3-② 連結損益状況【P/L】 ご参考



## 【過去6年間の損益状況推移】

利益率の改善に伴い、粗利益は直近10年間では最高水準

(単位：百万円)

	2018/9期	2019/9期	2020/9期	2021/9期	2022/9期	2023/9期
売上	15,977	11,952	12,230	11,075	10,976	11,506
粗利	2,678	1,824	2,440	2,909	2,671	3,189
同率	16.8%	15.3%	20.0%	26.3%	24.3%	27.7%
営業利益	326	▲553	311	716	473	710
同率	2.0%	▲4.6%	2.5%	6.5%	4.3%	6.2%
経常利益	428	▲622	307	730	577	861
同率	2.7%	▲5.2%	2.5%	6.6%	5.3%	7.5%
当期利益	161	▲710	273	524	325	700

# 3-③ 連結損益状況【P/L】 セグメント情報

## 【トピックス】

ディスプレイ部門は、4/1合併後、1Q(+56M)・2Q(+248M)と連続営業黒字を計上

(単位：百万円)

	セグメント				小計	調整	合計
	メカトロ	ディスプレイ	産業機器	電子機器			
2021/9期売上	6,055	952	371	3,696	11,075		11,075
同営利	678	▲201	▲49	179	606	109	716
2022/9期売上	5,179	2,513	416	2,866	10,976		10,976
同営利	469	▲131	▲17	103	424	48	473
2023/9期売上	4,978	1,973	493	4,060	11,506		11,506
同営利	580	248	▲244	362	946	▲236	710
(1Q営利)	183	56	▲152	58	146	▲134	11

# 3-④ セグメント別・地域別売上



## 【トピックス】

足許、中国向け売上げの減少が顕著

	22/9期①				23/9期②				合計増減金額
	メカトロ	ディスプレイ	産業機器	電子機器	メカトロ	ディスプレイ	産業機器	電子機器	
日本	3,012	810	365	2,787	3,179	1,478	418	3,970	+2,070
中国	599	1,425	20	6	301	458	4	0	▲1,286
アジア他	1,521	173	17	70	714	19	63	88	▲896
その他	45	104	13	2	782	17	7	1	+642
合計	5,179	2,513	416	2,866	4,978	1,973	493	4,060	+530

# 3 - ⑤ 連結損益状況【B/S】



(単位：百万円)

	2022/9期	2023/3期	2023/9期	増減
流動資産	28,097	30,108	31,592	1,483
固定資産	8,217	8,631	10,573	1,941
総資産 計	36,315	38,740	42,165	3,424
流動負債	13,798	13,680	17,272	3,592
固定負債	6,805	9,082	8,375	▲707
負債 計	20,604	22,763	25,648	2,884
純資産 計	15,711	15,977	16,517	539

## 【トピックス】

資産負債が両建てで増加(34億円)する一方、純資産の増加は微増(+5億円)に留まった事から自己資本比率は悪化

	2021/3期	2021/9期	2022/3期	2022/9期	2023/3期	2023/9期	増減
自己資本比率	37.5%	42.0%	41.3%	43.2%	41.1%	39.1%	-2%

# 3-⑥ 連結キャッシュフロー【C/F】



## 【トピックス】

営業活動C/F悪化は運転資金要因によるもの

営業C/F (▲87M) = 損益要因 (+890M) + 運転資金要因 (▲977M)

(単位：百万円)

	2021/9期 実績	2022/9期 実績 I	2023/9期 実績 II	増減額 II - I
前期末現金同等物①	9,932	8,619	6,552	
営業活動C/F	+566	+523	▲87	▲611
投資活動C/F	▲54	▲171	▲1,893	▲1,721
財務活動C/F	▲2,053	▲1,904	+1,095	+2,999
為替換算	+48	+109	62	▲47
9月末現金同等物②	8,439	7,176	5,728	
期中増減②-①	▲1,493	▲1,442	▲823	

# 3-⑦ 受注状況について



## 【トピックス】

9月末受注高：前年同期比で大幅に減少(▲48億円)

9月末受注残：前年同期比で続伸するも前期末(3末比)では減少(▲11億円)

(単位：百万円)

	2021/9期 実績		2022/9期 実績		2023/9期 実績		備 考
	受注高	受注残	受注高	受注残	受注高	受注残	
メカトロ	5,624	2,807	7,447	6,792	4,928	7,462	
ディスプレイ	2,939	5,742	2,718	6,869	632	7,201	
産業機器	438	226	560	267	743	394	
電子機器	3,849	6,338	4,460	9,456	4,043	9,268	
合計	12,851	15,114	15,187	23,385	10,348	24,327	3末:25,485

# 3 - ⑧ 通期業績予想修正について(11/13)

●2024年3月期通期連結業績予想数値の修正（2023年4月1日～2024年3月31日）

（金額の単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	37,000	3,700	3,600	2,300	249円91銭
今回修正予想 (B)	30,000	3,000	2,900	2,100	228円64銭
増減額 (B-A)	△7,000	△700	△700	△200	—
増減率 (%)	△18.9%	△18.9%	△19.4%	△8.7%	—
(ご参考) 前期実績 (2023年3月期)	24,114	1,495	1,541	921	100円57銭

<修正の理由>

1. 売上高につきましては、国内外の為替・金融環境の混乱に起因する受注残の納期遅延・悪化に加え、中国の景気悪化に伴う受注高の不振が相まって売上高が伸び悩み、前回発表予想を下回る見込みとなりました。
2. 営業利益につきましては、資材調達価格や加工費等の製造原価圧縮には努めており、一定の成果は見られるものの、上記売上高の減少の影響が大きく、前回発表予想を下回る見込みです。
3. 経常利益につきましても、営業利益の減少の影響により、前回発表予想を下回る見込みです。
4. 親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、営業利益の減少の影響はあるものの、子会社による企業買収により発生した負ののれん発生益等により、減少額は軽減される見込みです。

※なお、本資料には、本資料の発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれています。当該予想と実際の業績の間には、今後の様々な要因によって大きく差異が発生する可能性があります。

※また、本修正に関わらず、通期配当予想額については、修正を予定しておりません。

以上

# 3-⑨ 通期配当予想について



## 【トピックス】

修正を予定せず、年間@75円を予定

	一株当り配当金			一株当り利益	配当性向
		中間	期末		
2022/9期	36円	12円	24円	121.49円	22.1%
2023/3期	75円	25円	50円	100.57円	74.6%
2024/3期	75円	35円	40円	228.64円	32.8%
増減 ② - ①	-	+10円	△10円	-	-

## セグメント情報

### 4-① メカトロニクス関連事業

ワイエイシイホールディングス株式会社

取締役副社長

ワイエイシイメカトロニクス株式会社

代表取締役会長

伊藤 利彦

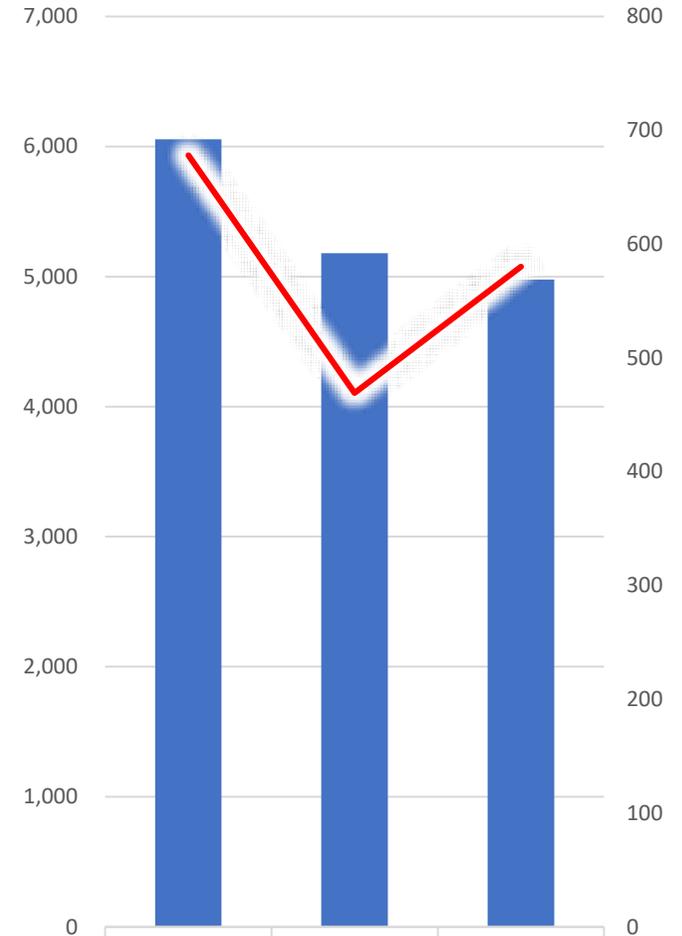
## 2023年9月期半期分析

● 昨年同期比、売上げは4%減であるが、利益は24%アップ

● 分析

- ① HDD関連設備投資が依然として先送り
- ② クリーンコンベア等自動搬送装置、並びにイオンビームミリング装置は堅調
- ③ 電子部品市場低迷による、顧客設備投資先送り等により、キャリアテープ、テーピング装置等売上減少
- ④ パワー系を含めた半導体業界向け装置は堅調
- ④ 一部の部品長納期化による装置製作期間の長期化
- ⑤ 前期末受注残は80億を越えるも予算未達

単位：M円



■ 売上実績	6,055	5,179	4,978
■ 利益	678	469	580

■ 売上実績 ■ 利益

## 2024年3月期目標と施策

●売上高：13,500M

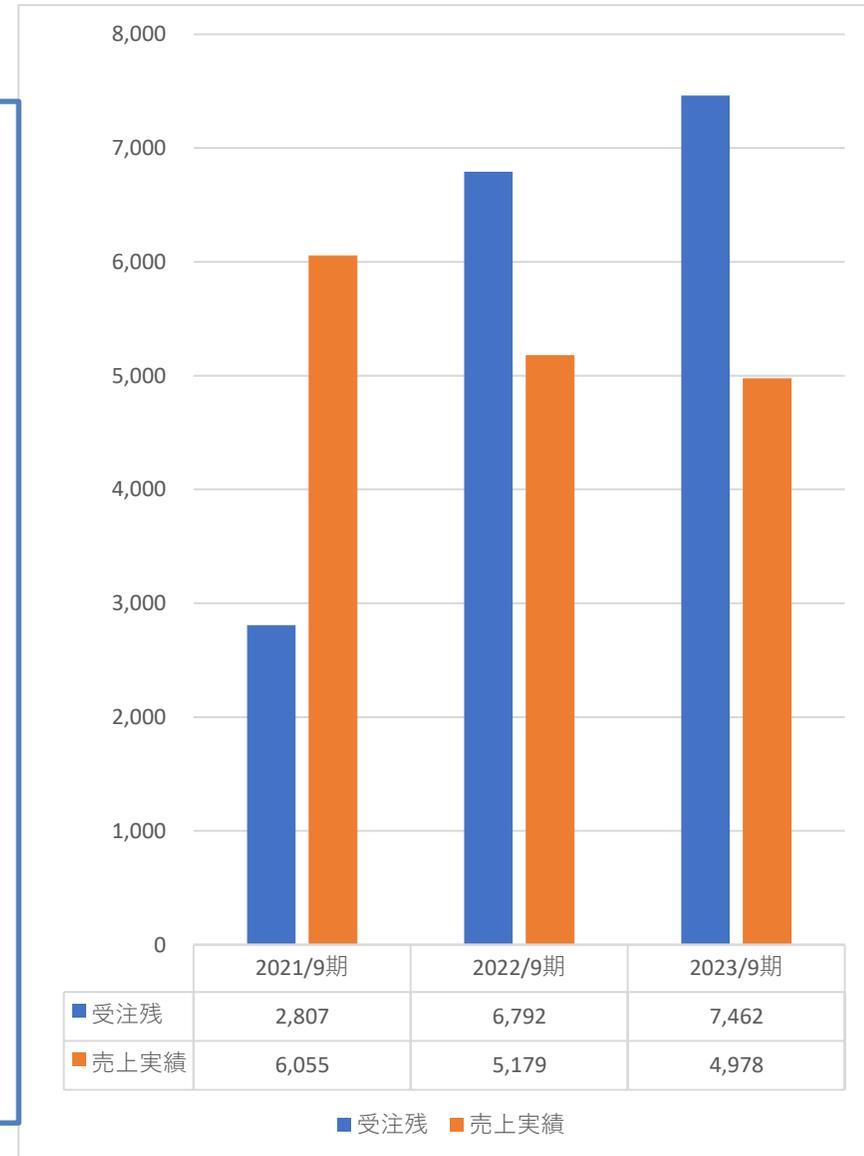
●懸念

- ①今期末も、HDD関連設備投資先送りの予測
- ②電子部品業界は徐々に復調の見込み
- ③引き続き、装置製作期間の長期化

●施策

- ①好調なパワー系半導体市場向け装置に注力
- ②キャリアテープは適材適所生産、タイムリーな設備投資、付加価値付与での高価格販売
- ③集中購買効果での、原価低減による粗利アップ

単位：M円





## セグメント情報

### 4-② ディスプレイ関連事業

株式会社ワイエイシイデンコー

代表取締役社長

青木 康浩

## 2023年9月期半期分析

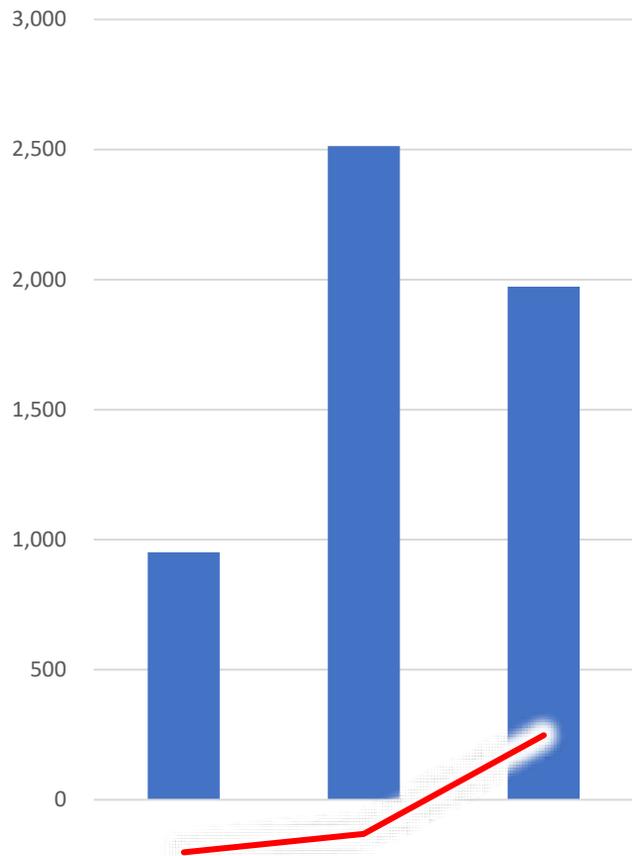
### ■ 市況

ディスプレイ市場は、パネル需要の回復が遅れ、設備投資は来期以降に延期傾向となる。IT用OLEDパネルの大型化に伴う設備投資に期待。

### ■ セグメント動向

- ① 2023年4月1日に当該セグメント2社を合併し、スケールメリットの追求と業務の整理統合により、生産性や収益性の向上を図った。
- ② 主にドライエッチング装置の計画遅延により減収となったが、熱処理装置及び消耗品サービス案件は予定通り進み、増益(黒字化)した。
- ③ 脱炭素化に向けた電気ヒーターの需要増や電子部品製造装置の更新による入替需要に伴い、工業用熱処理装置の受注が増加した。

単位：M円



(500)

	2021/9期	2022/9期	2023/9期
売上実績	952	2,513	1,973
利益	-201	-131	248

■ 売上実績 ■ 利益

# 4-② ディ스플레이関連事業 今期目標、施策

## 2024年3月期今期目標と施策

●売上高：6,000M円

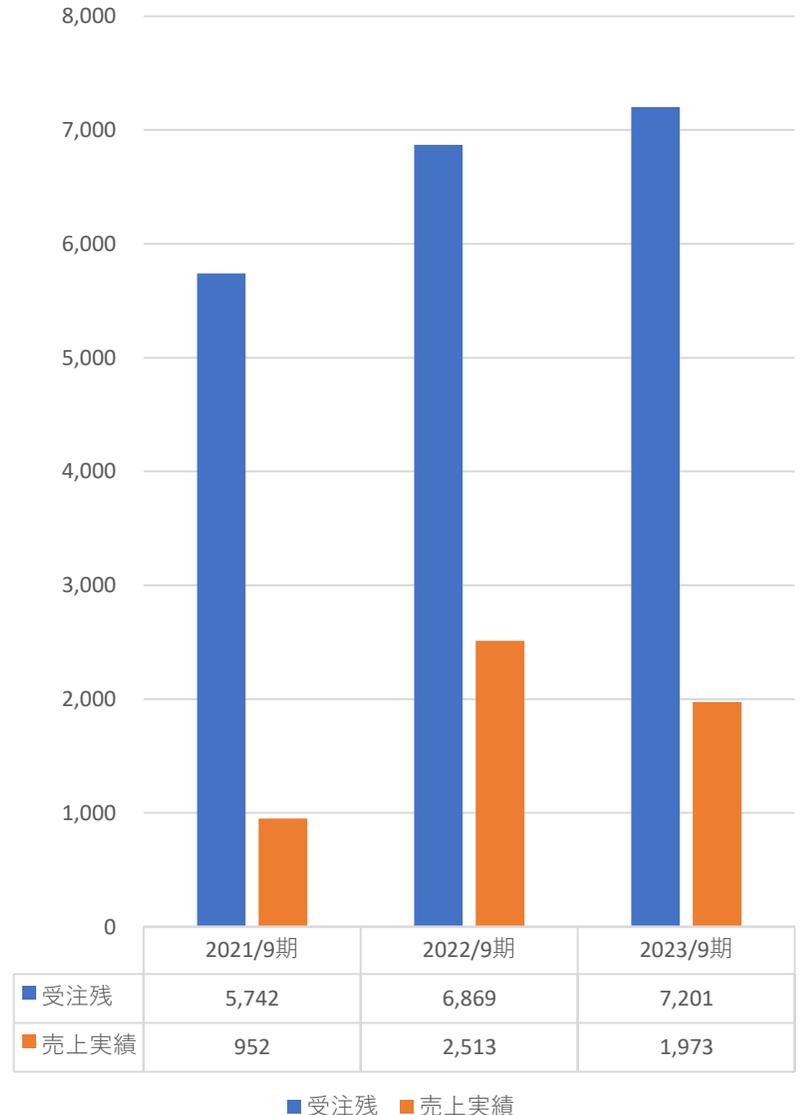
●懸念

- ① FPD製造設備の投資停滞継続
- ② ディ스플레이パネルの需要回復の遅れ
- ③ 部材高騰による粗利率の低下

●施策：

- ① 高付加価値プロセス適合を強みにした販売戦略
- ② 設備の稼働向上に伴うアフターサービスの拡大
- ③ 部品の共通化や在庫等によるコストと納期対応
- ④ ディ스플레이以外の様々な業界に向けた  
プラズマ応用設備及び熱処理設備等の販路拡大

単位：M円





## セグメント情報

### 4-③ 産業機器関連事業

ワイエイシイマシナリー株式会社

代表取締役社長

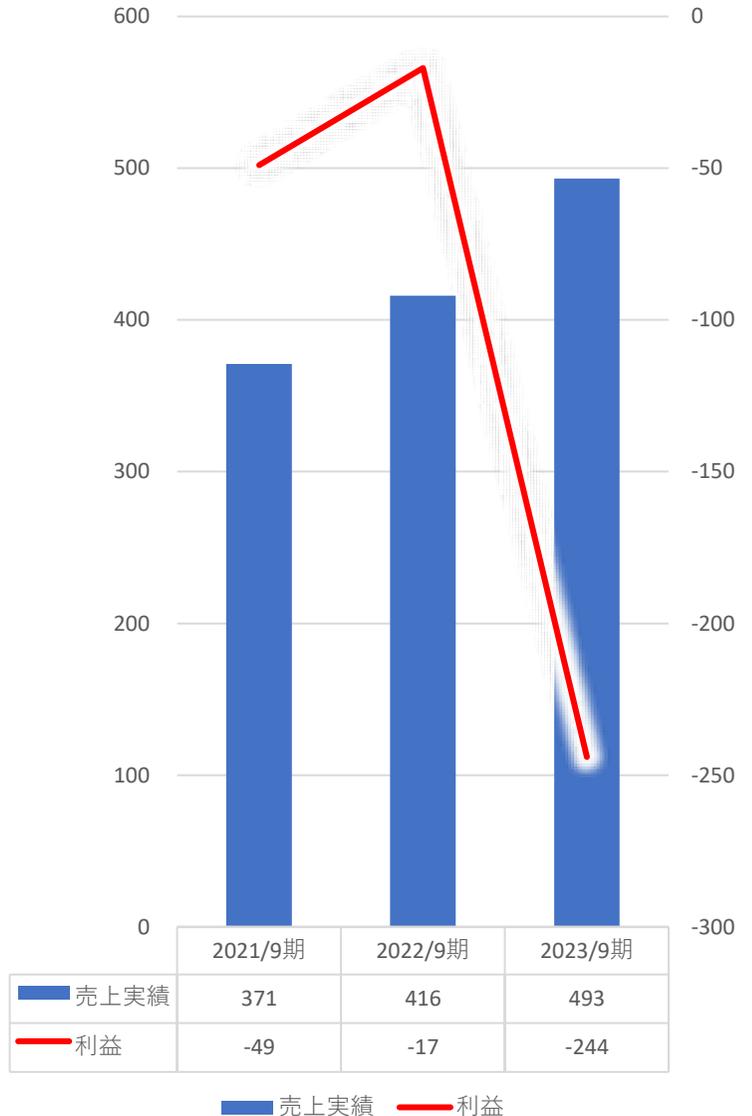
副島 幸雄

## 2023年9月期半期分析

4月よりJEインターナショナル関連を吸収したが、受注減により赤字幅拡大となる。

- ホームクリーニングは、工場数が縮小したため、稼働率は上がり、サービスの売上利益が貢献。
- 産業クリーニングは、医療リネンに注力し装置横展開を図り、特にトンネル仕上げ機の受注が増加。
- EC物流に注力し、大手ユーザーが当社包装システムを使用している。横展開を行うため各社に説明している。「物流の24年問題」解決のためにも、省人化である自動包装機は必要なアイテムである。
- JEインターナショナルの受注案件がシフトした。両面AOIの特徴はスループット倍速となるので、他業界へのシフトを実施している。

単位：M円



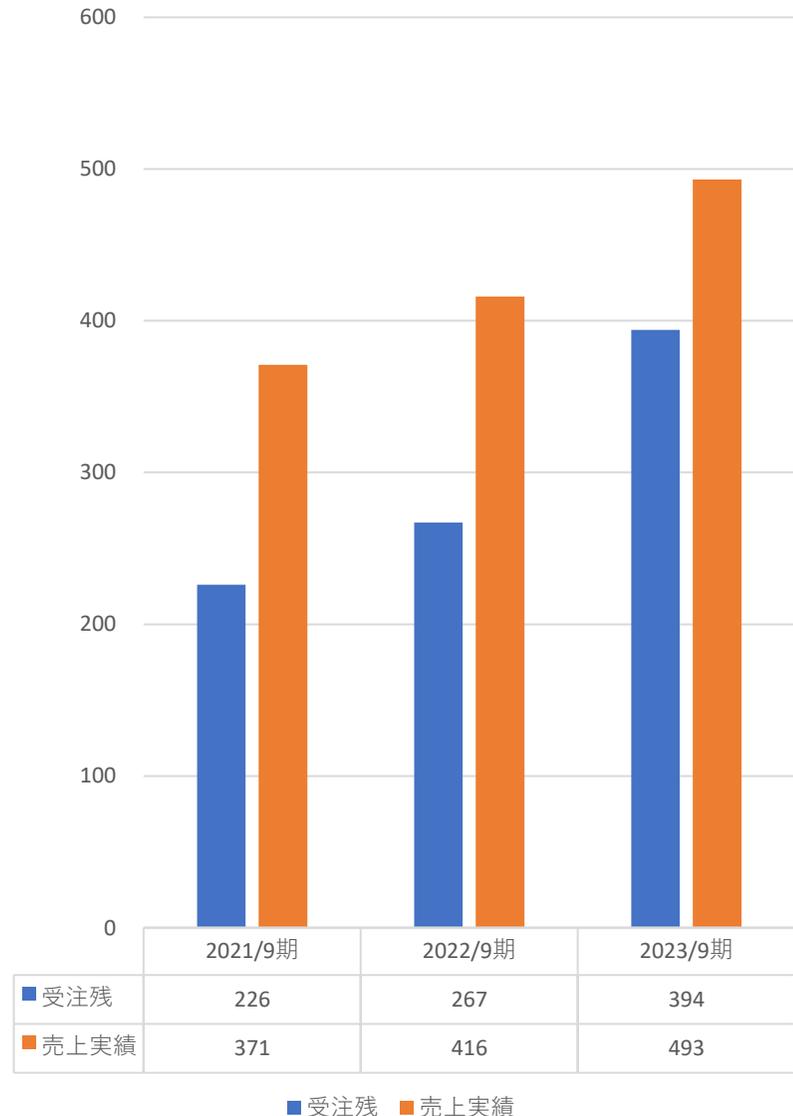
# 4 - ③ 産業機器関連事業 今期目標、施策



## 2024年3月期今期目標と施策

単位：M円

- 通期売上1,500M円
- ホームクリーニングの受注を増やす。上期は工場が稼働し、サービスが増えた。装置の需要は下期からとなるので即納できる体制を取る。
- 産業クリーニングは、医療リネンからインバウンド需要もありホテルリネンの伸びに代わってきた。新機種も考えるが、現商材の拡販を行う。
- EC物流は更に注力している。先日新商品を発売したが圧縮包装で体積を1/2とし、運送コストも1/2にしたい。結果CO<sub>2</sub>排出も1/2となるのでEC物流業界、アパレル業界、包材業界等に販売したい。
- JEインターナショナルのAOIは、FPCB(フレキシブル・プリント板)の実績がある。特に軽量化が必須のEV用としてワイヤーハーネスからFPCBに代わることが期待出来るので受注促進を図っている。(FPCB市場は年率10%アップ。27年に4.5兆円規模。)



## セグメント情報

### 4-④ 電子機器関連事業

ワイエイシーホールディングス株式会社

取締役専務執行役員

大倉電気株式会社

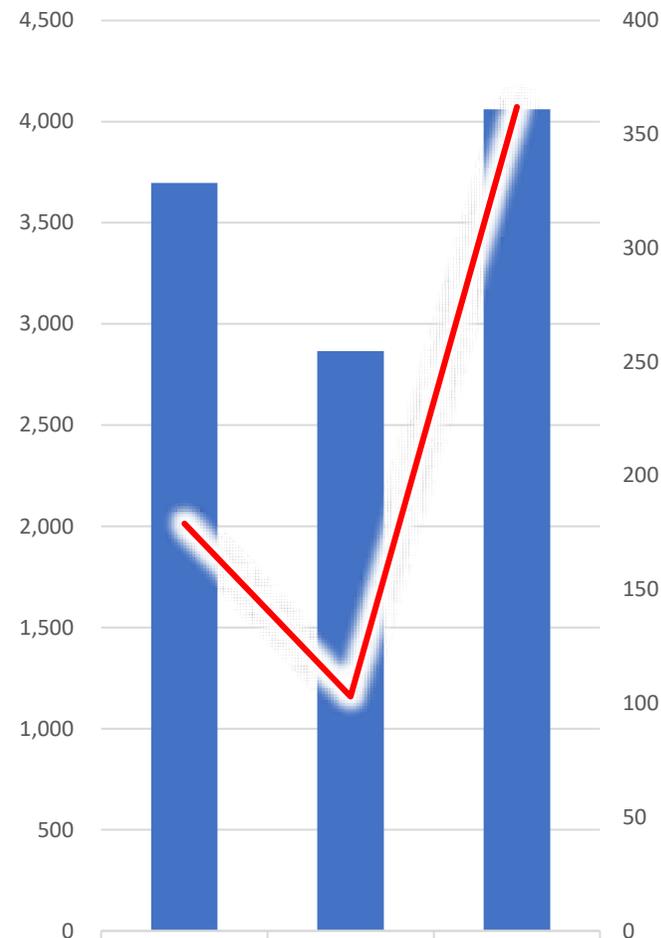
代表取締役社長

大倉 章裕

### 2023年9月期半期分析

- ① 電子機器関連事業全体としては、前年同期比部品調達で苦慮した透析装置の生産も安定し、電力関連の売上も順調に推移した結果、**前年同期比増収・増益となった**
- ② メディカル部門：透析装置は、引き続き中南米中心に需要は旺盛。**課題の調達コスト低減、生産性に改善の余地あり**
- ③ 制御通信、工業計器部門：**再生エネルギー関連への設備投資は継続、原子力発電所再稼働による工業計器の売上が増加**
- ④ 半導体業界は一服感はあるが、**装置中心に受注残あり**

単位：M円



売上実績	3,696	2,866	4,060
利益	179	103	362

■ 売上実績 ■ 利益

## 2024年3月期目標と施策

売上高 9,000M

### 懸念

- ①透析装置を中心とした円滑な資材調達と生産体制
- ②半導体装置の長納期部品確保
- ③人手不足にたいしての人員確保

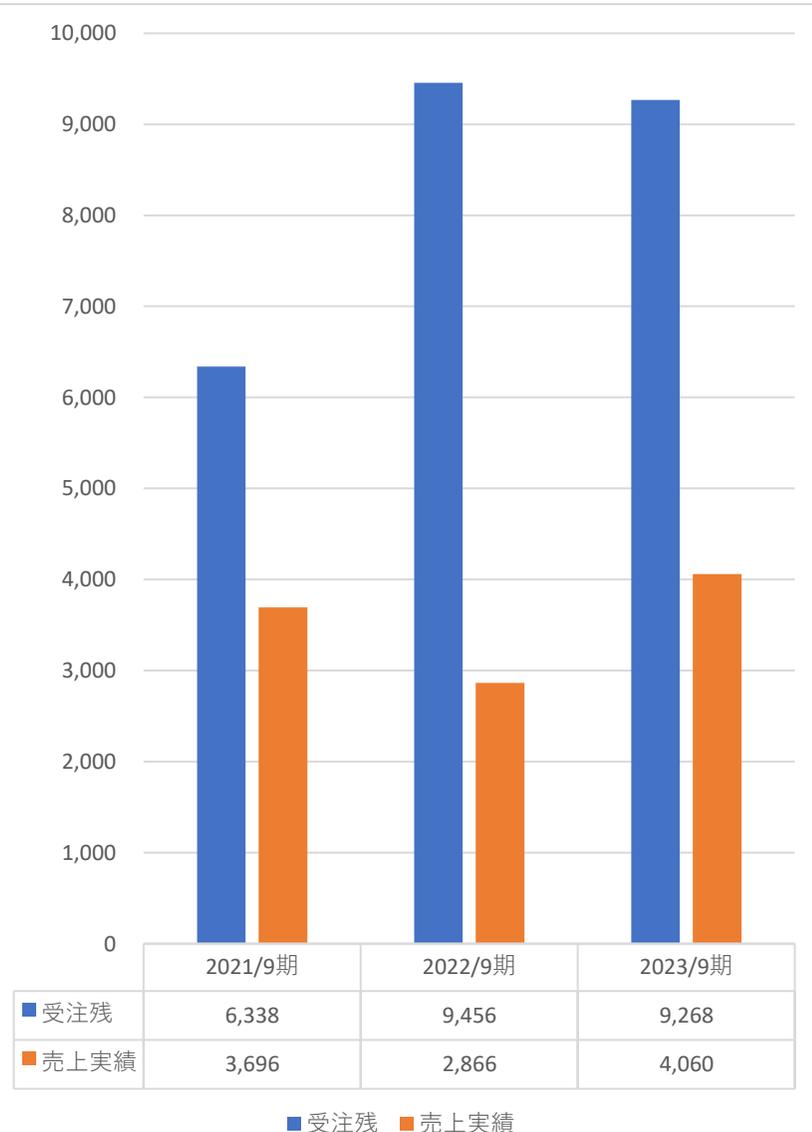
### 施策

- ①グループ全体としての調達力強化
- ②新人工透析装置の上市
- ③営業DXによる営業活動の効率化
- ④人材確保強化を行い量産品である透析装置の増産対

### 応

- ⑤顧客提案営業の強化

単位：M円



# 5. 2024年3月期第二四半期総括 2024年3月期通期目標と戦略

ワイエイシーホールディングス株式会社

代表取締役会長兼社長 百瀬 武文

# 5-①. ワイエイシイグループ 企業理念



## 【創業理念】 (1973年)

継続発展

1. 技術集約会社
2. 旺盛なバイタリティー
3. リスクに果敢にチャレンジする
4. 少数精鋭主義

## 【成長理念】 (1985年)

社会貢献

1. 社員の豊かさを追求する（経済的・精神的）
2. 国・地方自治体に、より多く納税する
3. 新製品の創造・提供
4. 地域社会への貢献
5. 株主を優遇する
6. 環境保全のため省資源・省エネルギーを図る

## 【究極の理念】 (2020年)

SDGs

～より多く社会に貢献するために～

1. 社員・グループの成長
2. 全員経営・連携と競争
3. SDGs経営の推進
4. 納税額の拡大

# 5-②. 企業理念を追求する当社の姿



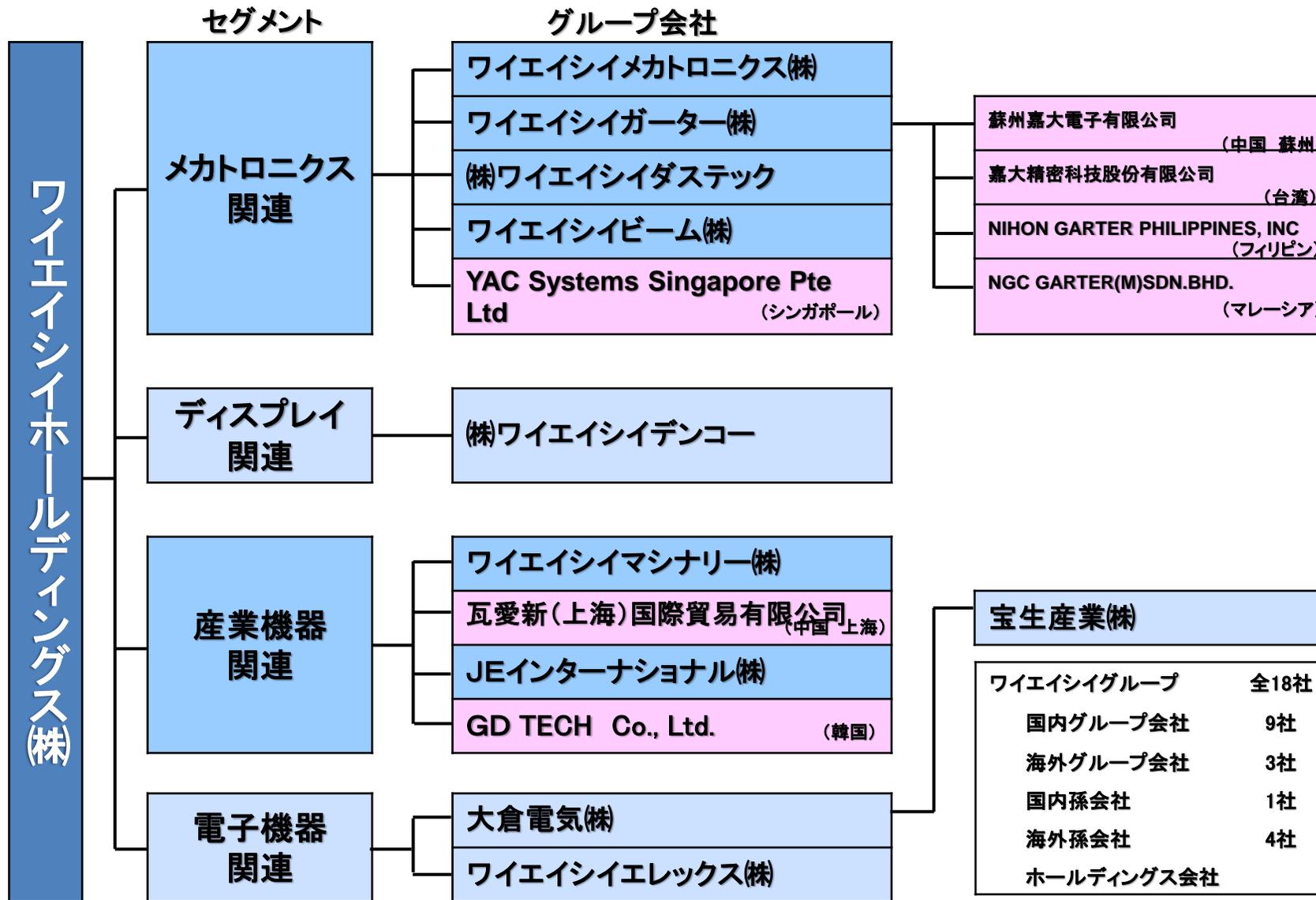
## 1. 基本的条件 あるべき姿

①継続し発展する ……	部下・家族・自分・社会・国家のため
②赤字は社会悪 ……	経営者として最も恥ずかしいことである
③社会貢献 ……	常に成長し、かつ利益を通じて
④SDGs ……	持続可能な社会へ、いくつものカーボンニュートラルに通ずる量産新製品の開発
⑤プライム市場 …… (株主は投資家中心)	成長あるのみ。宿命である。使命である。 成長は、すべてがハッピー。

## 2. 当社グループの文化は

成長へ、そして更なる成長へと、困難な事態にも決してあきらめず、  
全員経営の理念のもと、明るく元気よく、ポジティブな挑戦を続け、成  
長への喜びを感じながら、より多く社会貢献を目指す企業集団である。

# 5-③. ワイエイシイグループの構成



# 5-④. 創立50周年年度 業績予想値



## (1) 2024年3月期 セグメント別予算

(百万円)

セグメント	2023年度 売上予算	前期末 受注残	売上予算に対する 受注残の割合
メカトロニクス	13,500	7,512	55.6%
ディスプレイ	6,000	8,542	142.4%
産業機器	1,500	144	9.6%
電子機器	9,000	9,286	103.2%
<b>合計</b>	<b>30,000</b>	<b>25,485</b>	<b>85.0%</b>

通期予想	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	一株当り 利益
予想値	30,000	3,000	2,900	2,100	228.64円
対前期増減率	24.4%	100.5%	88.1%	128.0%	—

# 5-⑤. 目標達成への戦略



## (2)2024年3月期 予算凌駕への戦略

### (1)4大テーマの推進(各社推進委員の任命)

1. 営業改革	①コンタクト数UP ②組織的営業活動、効率UP
2. 粗利率UP	①依命システムの完全実行 ②稼働率UP ③ミス防止
3. 経費削減 売掛金回収	①経 費：予算以下 ②売掛金：回収スケジュールに則り推進
4. 全員経営	①職場内コミュニケーション ②ヤル気満々 ③目標凌駕への職場の一体感

### (2)B to C的事業の推進

1. ライナス社との共同事業

2. アルツハイマー型認知症バイオマーカー測定装置

## 1. 成長への基本戦略

### (1) 成長への分野別比率

①既存分野による成長	5%以上 (2030年までに+50億円)
②量産新製品の完成による成長 (大量量産新製品の誕生)	60%以上 (2030年までに+450億円)
③M&A、アライアンスによる成長	30%以上 (2030年までに+250億円)

(2) グループ6社以上が売上100億を超えている

(3) すべての社員から定期的に量産ニーズの提案

# 5-⑦. 2030年への成長戦略



## (4)ワイエイシイグループで100億円越えへの挑戦(可能性大)

①人工透析装置 .....	エレックス
②ライナスバイオ社との共同事業 .....	プロジェクト
③アルツハイマー型認知症 バイオマーカー測定装置.....	新規事業開発部
④キャリアテープ .....	ガーター
(プラスチック、紙)	
⑤パワー半導体 .....	ビーム、メカトロニクス
(レーザアニーラ、SiCチップハンドラ等)	
⑥SDGs .....	マシナリー
(紙・生分解によるEC物流向け包装機)	
⑦ディスプレイ .....	デンコー
⑧AOI(自動光学検査装置) .....	JEインターナショナル

## (5)ライナス社とのビジネス

1. 基本契約 …… 両社の共同事業推進(当社10億円の投資を実行)

2. 事業内容 …… 各種疾病の検査

＜当面の対象となる疾病＞

- |                  |              |
|------------------|--------------|
| ①自閉症             | ④PD(パーキンソン病) |
| ②ALS(筋萎縮性側索硬化症)  | ⑤癌           |
| ③ADHD(注意欠陥多動性障害) | ⑥膠芽腫(こうがしゅ)  |

3. 当社の売上対象

- |       |              |
|-------|--------------|
| ①装置製造 | ③アフターサービス    |
| ②消耗品  | ④検査事業(アジア地域) |

4. アジア地域のビジネスは当社主体で運営する(ライナス社の指導)

(米国、EU、中東はライナス社主体で運営)

(1)新会社設立、設備の準備

(2)検査事業展開

- |               |                 |
|---------------|-----------------|
| ①髪の毛を回収(有償)   | ④データをライナスに送る    |
| ②当社の装置で処理     | ⑤ライナスがデータに基づき判定 |
| ③質量分析装置でデータ取り | ⑥患者に結果を回答       |

## 100周年(2073年)に向かって 売上規模 3兆円以上を目指す

### 1. 現在進行中の100億円規模のテーマの拡大

- |                |           |
|----------------|-----------|
| (1)人工透析        | (5)パワー半導体 |
| (2)ライナス        | (6)SDGs   |
| (3)バイオマーカー測定装置 | (7)ディスプレイ |
| (4)キャリアテープ     | (8)AOI    |

### 2. ビジネスモデルの転換

- (1)少ロット品から、大量生産品への積極的展開
- (2)B to Bに加え、B to Cへの積極的展開

### 3. M&A、アライアンス

### 4. 常に量産新製品のニーズの取り込みを重視



# APPENDIX

# 6-①. 2024年3月期の目標(事業計画)



(単位:百万円)

	2021年 3月期 (実績)	2022年 3月期 (実績)	2023年 3月期 (実績)	2024年 3月期 (見込)	前年比 増減額 (見込)	前年比 増減率 (見込)
売上高	24,195	22,796	24,114	30,000	5,885	24.4%
営業利益	727	1,566	1,495	3,000	1,504	100.5%
経常利益	739	1,491	1,541	2,900	1,359	88.2%
当期純利益	337	1,107	921	2,100	1,178	128.0%
1株当たり 当期純利益(円)	37.19	121.49	100.57	228.64	128.07	127.3%
年間配当金(円)	20.00	36.00	75.00	75.00	0.00	0.0%

創立50周年記念  
配当を福含む

# 6-② 事業別受注額・受注残(連結ベース)



(単位:百万円)

		2023年3月期 第2四半期 連結累計期間	2024年3月期 第2四半期 連結累計期間	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
メカトロニクス 関連	受注額	7,447	4,928	▲2,518	▲33.8%
	受注残	6,792	7,462	670	9.9%
ディスプレイ 関連	受注額	2,718	632	▲2,085	▲76.7%
	受注残	6,869	7,201	331	4.8%
産業機器 関連	受注額	560	743	183	32.7%
	受注残	267	394	127	47.6%
電子機器 関連	受注額	4,460	4,043	▲417	▲9.4%
	受注残	9,456	9,268	▲187	▲2.0%
合計	受注額	15,187	10,348	▲4,838	▲31.9%
	受注残	23,385	24,327	942	4.0%

前年同期は特殊要因

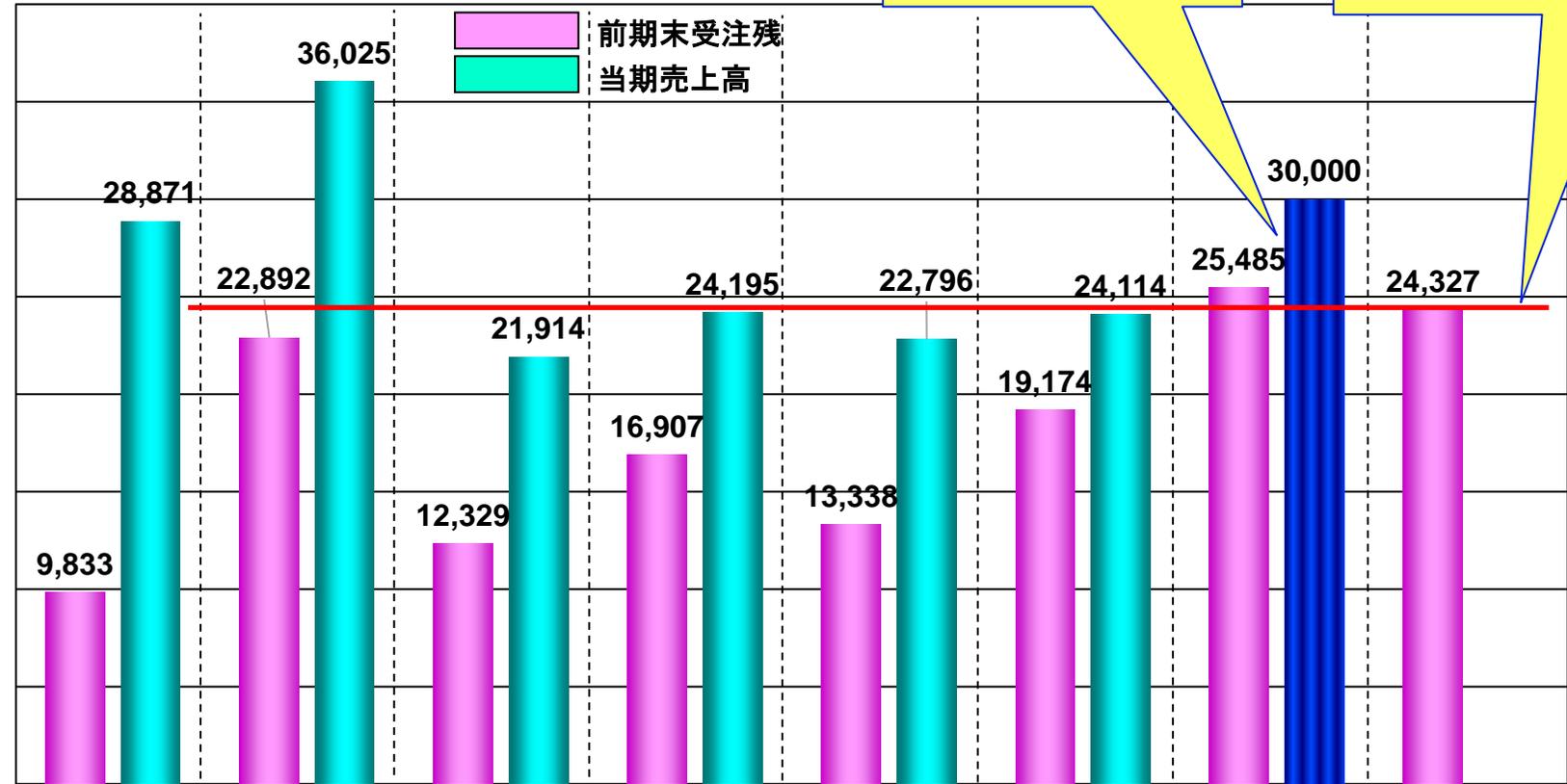
# 6-③ 事業別受注額・受注残(連結ベース)



## <前期末受注残と当期売上高の関係>

(百万円)

40,000  
35,000  
30,000  
25,000  
20,000  
15,000  
10,000  
5,000  
0



■ 前期末受注残に対して、当期売上高が何倍になったのかを示す倍率

2.94倍	1.57倍	1.78倍	1.43倍	1.71倍	1.26倍	?
-------	-------	-------	-------	-------	-------	---

# 6-④. 事業結果



(単位:百万円)

	2023年3月期 第2四半期 連結累計期間	2024年3月期 第2四半期 連結累計期間	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率(%)
売上高	10,976	11,506	530	4.8%
営業利益 (営業利益率)	473 (4.3%)	710 (6.2%)	237	50.2%
経常利益	577	861	283	49.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	325	700	374	115.1%
1株当たり 四半期純利益(円)	35.61	76.30	40.69	114.3%

# 6-⑤. 事業別売上・利益



(単位:百万円)

		2023年3月期 第2四半期 連結累計期間	2024年3月期 第2四半期 連結累計期間	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	備考
メカトロニクス 関連	売上	5,719	4,978	▲201	▲3.9%	自動搬送装置やイオンビームミリング装置が堅調。利益率は改善。
	利益	469	580	111	23.7%	
ディスプレイ 関連	売上	2,513	1,973	▲540	▲21.5%	中国ディスプレイ市場は減速傾向。
	利益	▲131	248	379	—	
産業機器 関連	売上	416	493	76	18.5%	EC物流市場への展開を図る。AI光学式検査装置は苦戦。
	利益	▲17	▲244	▲227	—	
電子機器 関連	売上	2,886	4,060	1,194	41.7%	電力会社向け及び人工透析装置が安定的に推移。
	利益	103	362	258	249.5%	
HDその他	利益	48	▲236	▲285	—	
合計	売上	10,976	11,506	530	4.8%	
	利益	473	710	237	50.2%	

# 6-⑥. 貸借対照表のレビュー



## <資産>

(単位:百万円)

	2023年3月	2023年9月	増減額	備考
現預金	6,628	5,832	▲795	
売上債権	11,282	11,405	123	
棚卸資産	11,181	13,287	2,105	長納期品の積極仕入
その他流動資産	1,015	1,066	50	
固定資産	8,631	10,573	1,941	ライナス社への出資
資産合計	38,740	42,165	3,424	

## <負債・純資産>

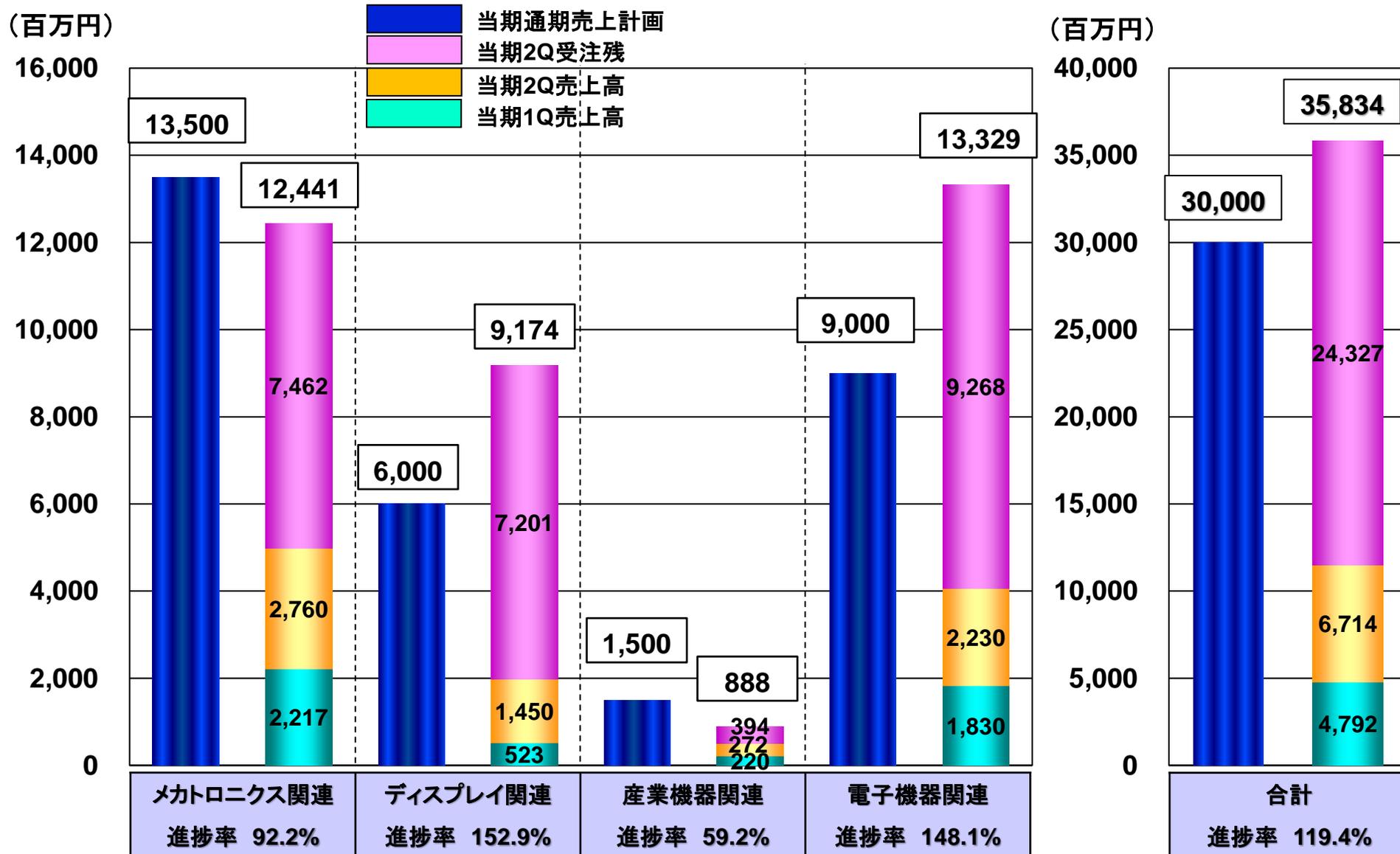
(単位:百万円)

	2023年3月	2023年9月	増減額	備考
仕入債務	5,252	6,032	780	
その他流動負債	8,428	11,240	2,812	短期借入金の増加
固定負債	9,082	8,375	▲707	
純資産	15,977	16,517	539	
負債・純資産合計	38,740	42,165	3,424	

# 6-⑦. 2024年3月期 売上計画の進捗



## <2024年3月期 事業別売上計画の進捗状況>

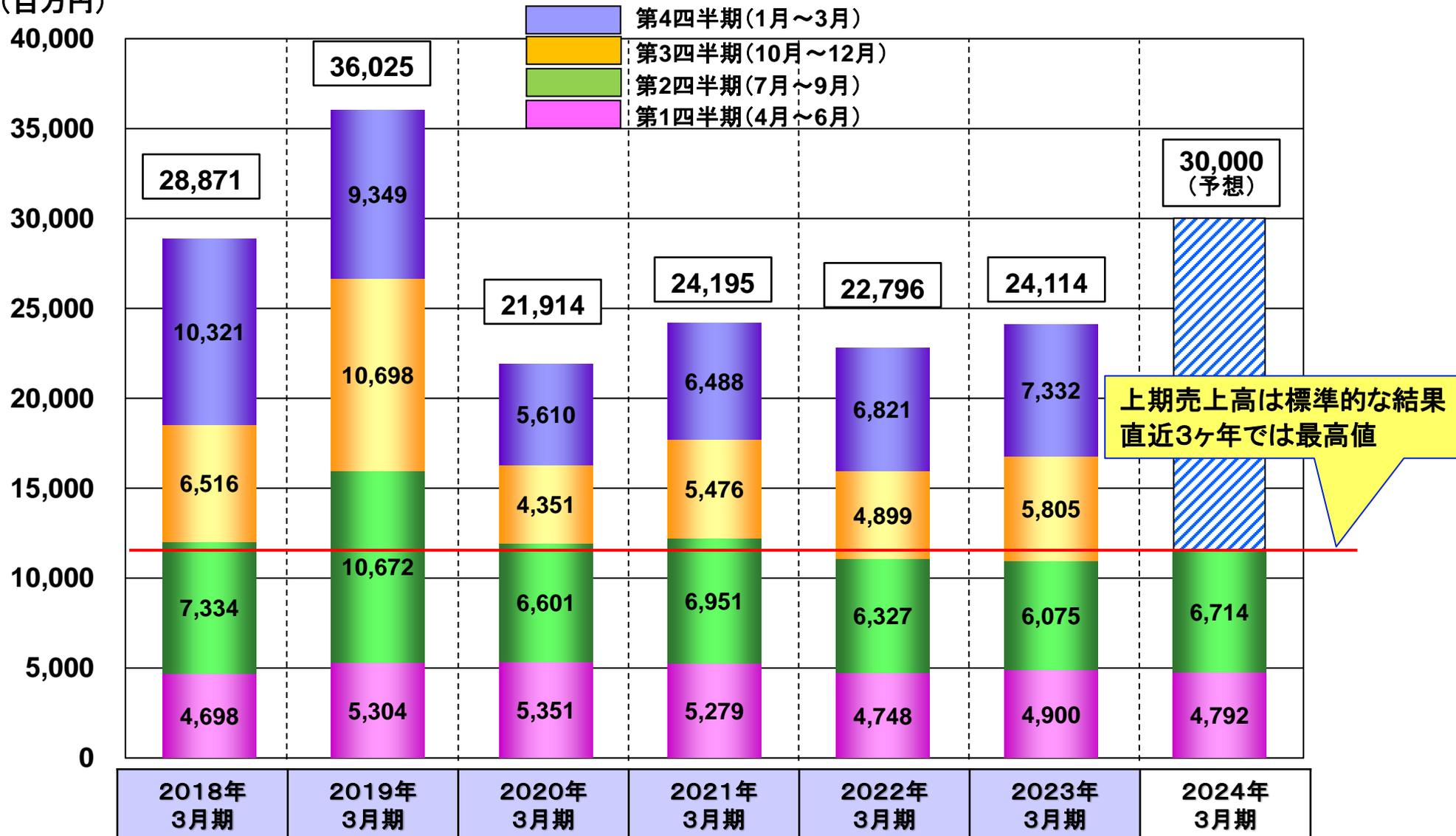


# 6-⑧. 四半期別売上高



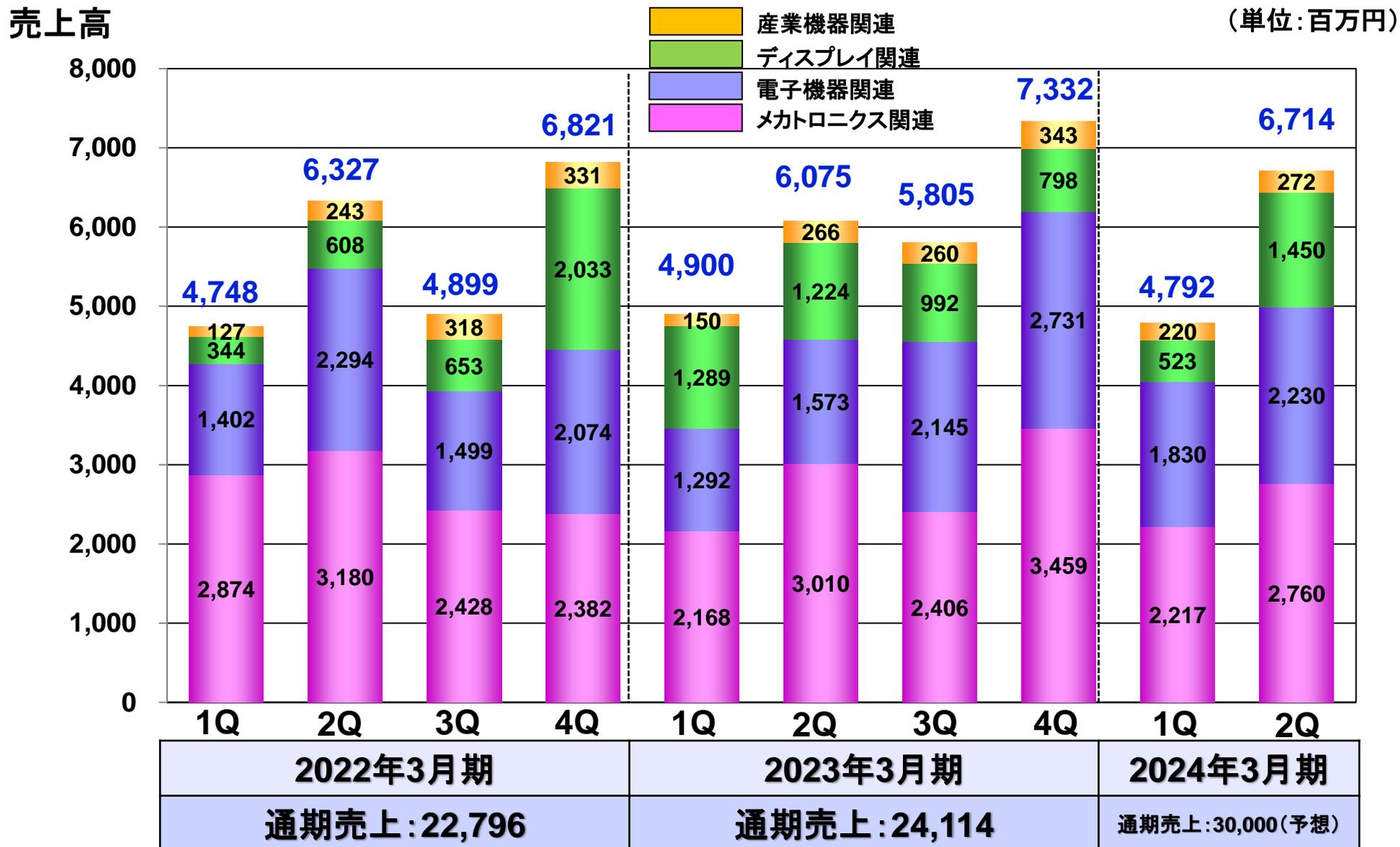
## <参考> 過去の四半期別売上高の推移

(百万円)



上期売上高は標準的な結果  
直近3ヶ年では最高値

# 6-⑨. 四半期別・事業別売上高

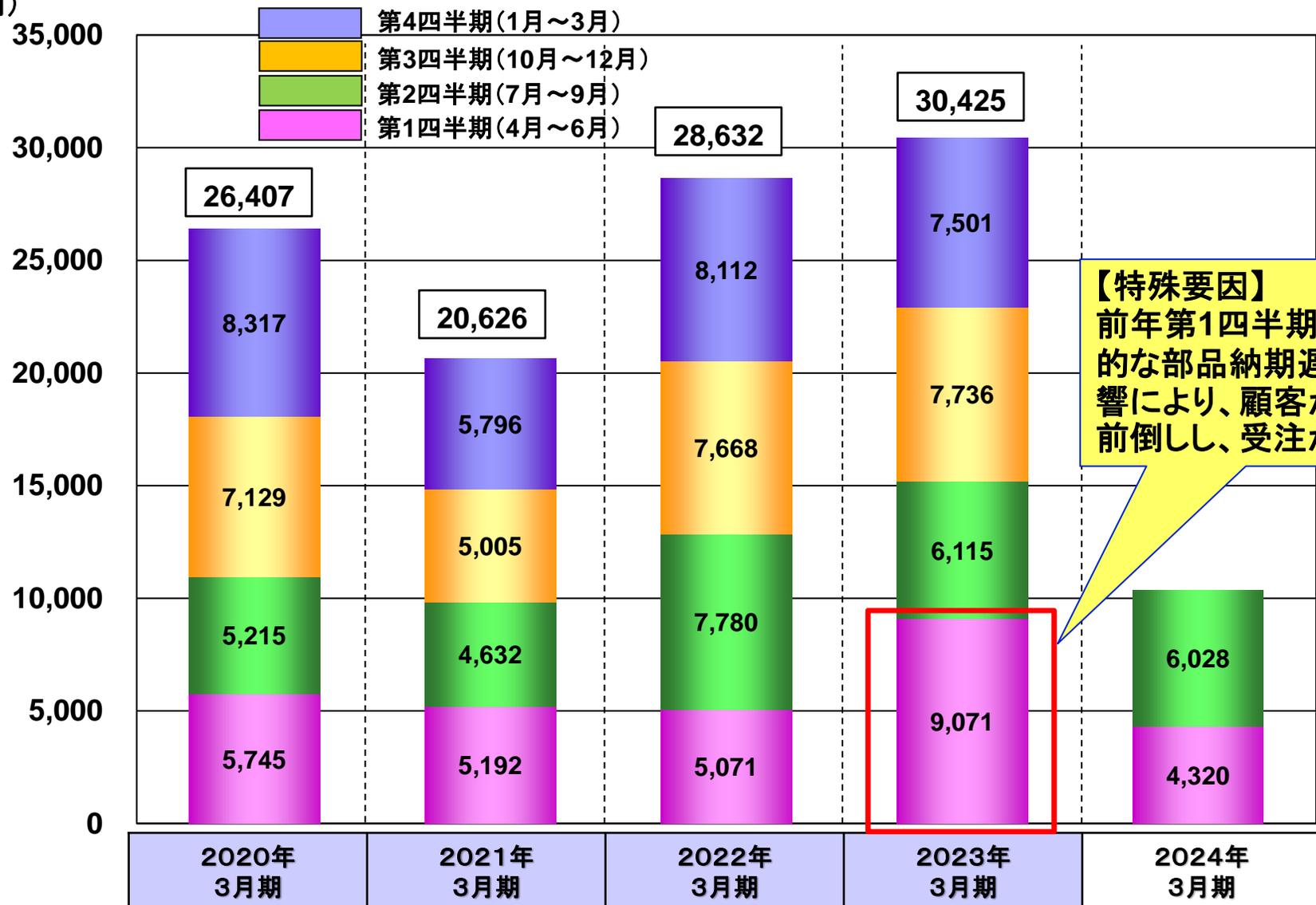


# 6-⑩. 四半期別受注高



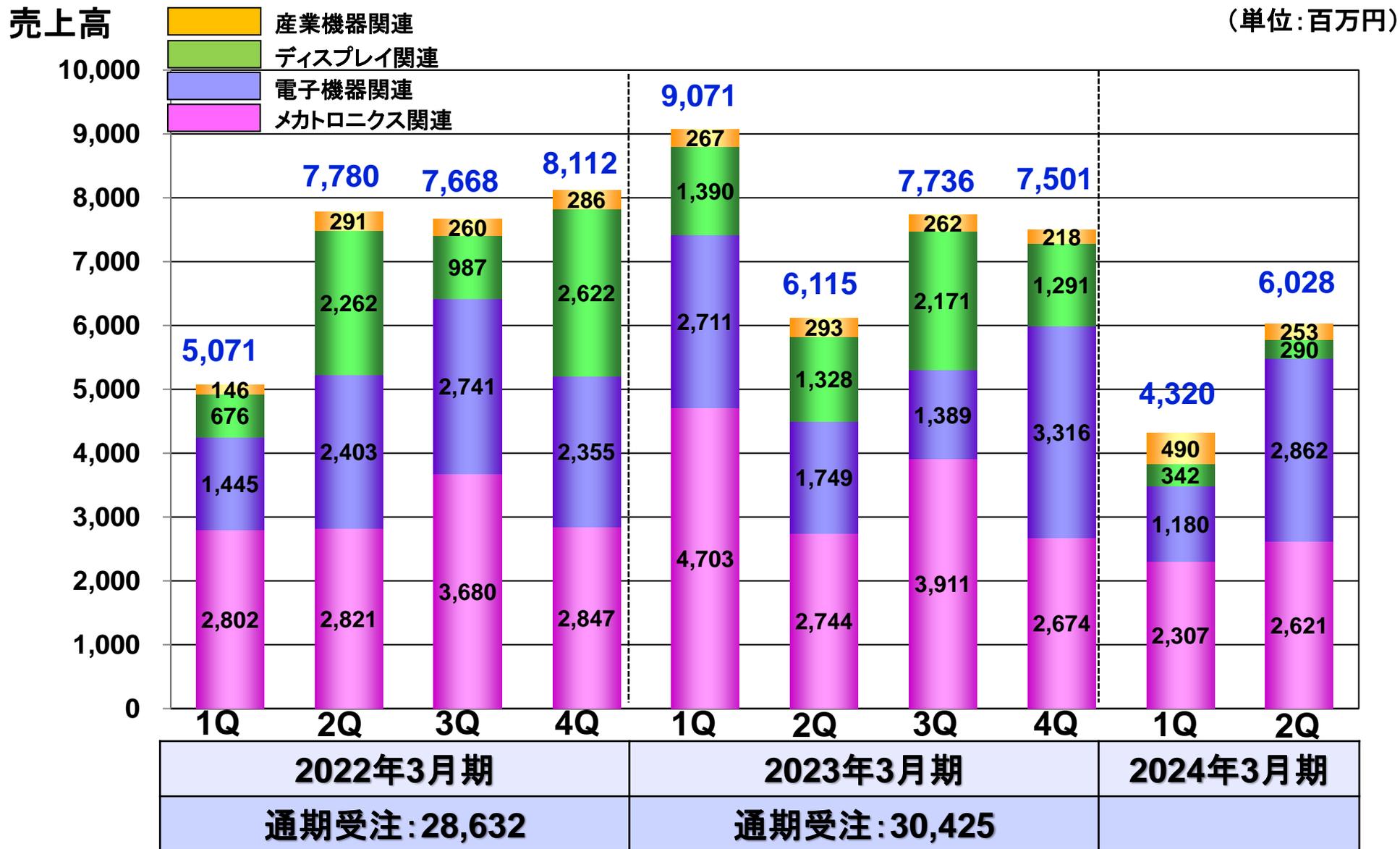
## <参考> 過去の四半期別受注高の推移

(百万円)



**【特殊要因】**  
前年第1四半期は、世界的な部品納期遅延の影響により、顧客が受注を前倒しし、受注が殺到。

# 6-⑪. 四半期別・事業別受注高





さあ今日も、明るく、元気よく

ときめきと感動の日々であれ！

く な や か 先 端 技 術 企 業 集 団

 **ワイエイシーグループ**